



ネイチャーセンターだより

2021年7月号

新・いきもの図鑑



写真提供：高橋真人さん（根室市内で撮影）

エゾセンニュウ（センニュウ科）

エゾセンニュウは、スズメより少し大きな鳥です。冬は、フィリピンやニューギニア西部などで過ごし、夏に北海道や千島列島、中国北東部などに渡ってきます。根室に到着するのは、6月初め頃で他の夏鳥より少し遅いです。

ササや低木が生い茂る藪のような環境に生息し、「ジョッピンカケタカ」という大きな声でよくさえずります。明るい場所へ出てくることはほとんどなく、近くで鳴いていても姿が見られることは中々ありません。ネイチャーセンター周辺では、センター前の湿地や東梅自然学習林で観察できることが多いです。

エサは、甲虫類やハサミムシ、バッタなどの昆虫です。

【参考文献】

永田尚志. 1997. 日本動物大百科第4巻鳥Ⅱ. 平凡社. 東京.

ハウロクシギが観察されました

NEWS

6月10日の春国岱第2浜提の鳥類調査中、春国岱の先端部の干潟で4羽のハウロクシギを観察しました。その後も春国岱湾や春国岱の先端部で1羽～5羽が採食している様子が見られています（表1）。

春国岱では、主に4月～5月、7月～8月に渡来する旅鳥ですが、年によっては、子育ての時期も春国岱で見られることもあります。遅くまで残っていて大丈夫なのでしょうか。

実は、ハウロクシギは、気象条件によって渡りを途中でやめて、繁殖地に渡っていかないことがあるようです。これは、1998年から2000年にかけて環境省とオーストラリア政府が共同で、ハウロクシギの渡り経路を把握するために送信機を取り付けて調査した結果わかりました。もしかしたら、このハウロクシギたちは、渡りを途中でやめて春国岱に滞在しているのかもしれない。

【参考文献】

植田睦之. 2004. ハウロクシギ. Bird Research News Vol.6 No.1.

表1 2021年6月のハウロクシギの記録

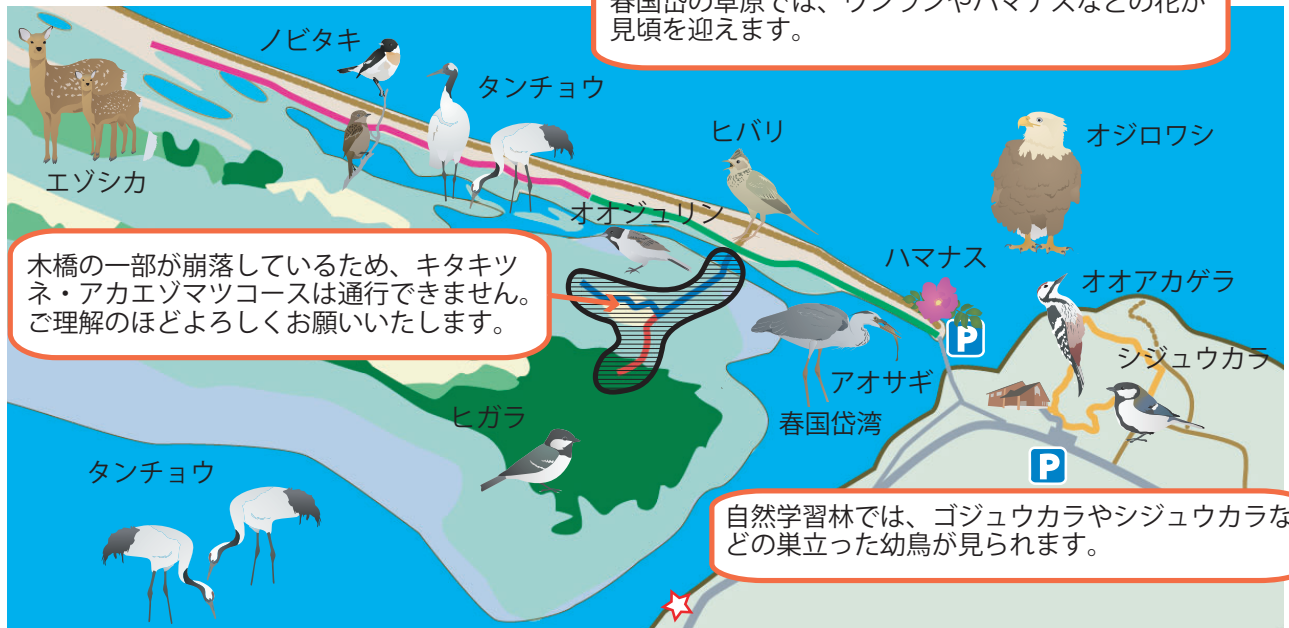
年月日	場所	羽数
6月10日	春国岱先端部	4
6月11日	春国岱湾	2
6月12日	春国岱湾	1
6月14日	春国岱先端部	5
6月19日	春国岱先端部	2
6月24日	春国岱先端部	3
6月25日	春国岱先端部	3



写真：ハウロクシギ

2021年6月11日撮影

見どころMAP



春国岱の草原では、ウンランやハマナスなどの花が見頃を迎えます。

木橋の一部が崩落しているため、キタキツネ・アカエツマツコースは通行できません。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

自然学習林では、ゴジュウカラやシジュウカラなどの巣立った幼鳥が見られます。

- 観察路(ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路(ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路(キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路(アカエツマツコース0.5km、約15分)
- 観察路(小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路(春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎(東梅ハイド)

<キタキツネ・アカエツマツコースの補修の予定は、分かりしだいネイチャーセンターだよりやホームページ、Facebookでお知らせします。>
 <東梅ハイドからは、対岸の春国岱の森林の鳥や周囲の草原の鳥が観察できます。>

7月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる (と思う)
 - ちょっと気をつければ見られる
 - + よく気をつければ見られる
 - ・ めったに見られない

オジロワシ	○	少数が風蓮湖周辺に残り、子育てをしている。干潮時、風蓮湖や根室湾の干潟に降りて、魚や水鳥などを狙っている姿が見られる。
タンチョウ	○	春国岱周辺の湿地や干潟などで採食している様子や、休む様子が見られる。ヒナを育てているつがいには、とても神経質になる時期なので、落ち着かないようすのタンチョウがいたら、近づかずすぐに離れてほしい。
アオサギ	○	多い時は100羽近くが春国岱に集まり、干潮時に水辺でカレイやギンポなどの魚を捕らえる姿が見られる。最盛期は、8月～9月。
シギチドリ類	+	繁殖を終えたシギ・チドリ類が下旬から渡来し始める。春国岱湾の干潟や根室湾の干潟で採餌する様子が観察できることがある。過去、7月によく観察されたのはハウロクシギ、キアシシギ。
春国岱	野鳥(森)	鳥たちのさえずりは、あまり盛んではなくなるが、ルリビタキ、アオジなどの声が聞かれる。運が良いと、クマガラの鳴き声を聞くことがある。
	野鳥(草原)	海岸の草原ではヒバリのさえずりがよく聞かれる。湿原では、マキノセンニュウやシマセンニュウ、ノビタキなどのさえずりが聞かれる。巣立った幼鳥と出会うこともある。
	花	7月上旬:ハマナス、エゾフウロなど 7月下旬:ナミキソウ、コウゾリナ、マルバトウキなど
自然学習林	野鳥	上旬は、センダイムシクイ、ミソサザイ、エゾセンニュウなどのさえずりを聞くことができるが、中旬以降は下火になる。ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)が見られ、巣立った幼鳥が見られることもある。
	花	7月上旬:クサフジ、オオダイコンソウなど 7月下旬:キツリフネ、ホザキシモツケ、ハシドイ、チシマアザミなど
危険生物		エゾイラクサ・ツタウルシには、さわらないようにご注意ください。マダニ・カ・ヌカカを防ぐため、虫よけ剤の塗布をおすすめします。

ツバメの記録

身近な鳥の代表のように言われるツバメは根室では比較的珍しい鳥で、過去に市内で繁殖した記録も少しだけありますが、「極めて少ない」とされています。春国岱周辺での記録もほとんどないのですが、今年はネイチャーセンターの前浜のヨシ原のまわりで数回、観察する機会がありました。



写真：ツバメ
北海道外で撮影したもの

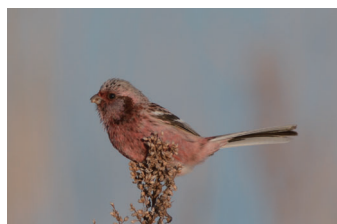
- 5/8 7:15 に 3羽、8:45 に 4羽 +
- 5/25 18:00 過ぎ 10羽の群れ。お腹が濃い赤茶色のものが1羽以上、赤茶色味があるものが2羽以上混じっていた
- 5/28 16:50 2羽
- 6/5 18:20 3羽 +
- 6/6 10:30 1羽 + (春国岱の海岸砂丘の上空)

6/7 以降は見かけなくなりましたが、どこかに通過する途中だったのか、興味深い記録です。なお、お腹が赤っぽいものは、ロシアの東の方で繁殖するもの(亜種アカハラツバメ)だった可能性があります。

参考文献 ニムオロ自然研究会. 2005. 根室市鳥類生息調査報告書.

夏鳥の初認

今年も小鳥たちのさえずりがにぎやかな季節になりましたね。春国岱と東梅自然学習林に春になって根室の外から渡ってきた鳥たち(夏鳥)の初認日(シーズン最初に見聞きした日)は、右のとおりです。例年(2015年～2020年の平均)より早めのものと遅めのものがくっきり分かれました。



写真：ベニマシコ
例年より11日初認が遅かった。



写真：カッコウ
例年より3日初認が早かった。

種名	2021年初認	例年比(日数)
キジバト	4/20	7
アオバト	6/12	-5
アオサギ	4/18	-7
ツツドリ	5/27	-2
カッコウ	5/25	3
アマツバメ	5/21	7
アリスイ	5/10	3
ヒバリ	3/27	1
ショウドウツバメ	6/11	-7
ウグイス	5/5	-6
エゾムシクイ	5/8	-3
センダイムシクイ	5/8	1
マキノセンニュウ	6/10	1
シマセンニュウ	6/5	7
エゾセンニュウ	6/5	1
ヨシキリ	5/17	6
コムクドリ	5/16	-5
アカハラ	5/4	-4
ルリビタキ	4/23	28
ノビタキ	4/23	2
コサメビタキ	5/15	14
キビタキ	5/27	-10
ハクセキレイ	3/27	-3
ベニマシコ	4/29	-11
アオジ	4/25	1
オオジュリン	4/20	5

春国岱クイズ

春国岱の木橋あたりから中谷地ぞいに、ウミミドリのかわいい花が咲く季節になりました。このあたりは潮が満ちると、海水がまざった塩気の多い湖水におおわれる、塩分の多い湿地(塩性湿地)で、普通の植物より塩分に強い植物(塩生植物)が生えており、ウミミドリもその一つです。

さてこのウミミドリ、私たちの身近に見られるある植物の仲間なのですが、それは次のうち、どれでしょうか？

- ① サクラ
- ② パンジー
- ③ サクラソウ



春国岱ネイチャーセンターのイベント情報

●行事参加者募集！

◆海べのいきものと遊ぼう！

春国岱周辺の干潟の生きものを観察します。

- ・開催日：7月24日（土） 9：00～12：00（※雨天等悪天候の場合は中止）
- ・集合場所：春国岱ネイチャーセンター
- ・対象：3歳～大人（小学生以下は保護者同伴のこと；17歳以下の方は保護者の方に参加申込確認書にご署名いただけること）
- ・参加費：100円（保険代）
- ・持ち物：濡れてもよいスニーカーまたは長ぐつ（危険防止のためかかとのないサンダルは不可）、すべり止めのついた軍手、日焼け止め、虫よけ（スプレーなど）、帽子、マスク、飲み物、着替え、タオル、筆記用具
- ・定員：20人（先着順、7月22日（木）まで）
- ・申込方法：電話、メール、またはネイチャーセンターにご来館の時に。参加者全員の氏名、小学生は学年もお知らせください。



Tel：0153-25-3047 E-mail：nemu_nc@marimo.or.jp

★新型コロナウイルス対策のため、ご参加の際に、当日から2週間以内までの健康状態等について確認させていただきます。また、行事を中止させていただく場合もありますので、あらかじめご了承ください。

★新型コロナウイルス感染症対策に関するお願い

春国岱原生野鳥公園のご利用に際して、以下の注意事項をお守りいただくようお願いいたします。

- ・ネイチャーセンター内でも、野外でも、三つの密（密閉・密集・密接）を避けてご利用ください。
- ・ネイチャーセンター入館時のマスクの着用、手指消毒・石鹸での手洗い励行をお願いします。
- ・体調不良、発熱、風邪の症状の方についてはご利用をお控えください。

募集中心！ ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループ「スंक」で活動して下さるメンバーを常時募集しています。「スंक」は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的としています。月に1回、ミーティングを行い（基本的に最終火曜日）、自然学習木の樹名板を作ったり、イベントを企画・実施したりしています。

熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のある方はネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象：18歳以上

◆年会費（ボランティア保険料含む）：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。またマダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



クイズのこたえ ③ ウミドリはサクラソウの仲間（サクラソウ科）に分類されています。コナスビやコツマトリソウも同じ仲間です。
出典：梅沢俊、2018. 北海道の草花。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

HP. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Face Book. <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日：（開館時間 9：00～17：00）

7月7・14・21・26・27・28日 8月4・10・11・18・25日

◆団体でご利用の方へ（事前予約制）

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録